

愛知県立大府特別支援学校（病弱）

1 学校概要

設置部・設置学科	小学部・中学部・高等部（普通科）
特色ある取組	
<p>本校は大府市にある、あいち小児保健医療総合センターと隣接し、県内唯一の病弱・虚弱児のための特別支援学校です。また、県内に三つの病院(名古屋大学医学部附属病院、藤田医科大学病院、JCH O中京病院)内に教室があり、常時本校職員が勤務し、小中学校の児童生徒を対象に教育活動を行っています。さらに、県内の病院に入院している小中学生に対して、本校職員が出向いて授業を行う訪問教育も行っています。令和3年度、開校50周年を記念して児童生徒から公募して決めたスクールキャラクター「タイシさん」が誕生し、児童生徒や保護者に親しまれています。</p>	
地域とのつながり・地域での役割	
<p>大府市内の小中学校、高等学校と学校間交流を行っています。</p> <p>小学部は大府市立石ヶ瀬小学校と年2回の交流を行い、お互いの自己紹介や学校紹介、ゲームなどを通して楽しい時間を過ごし、互いに理解を深めています。</p> <p>中学部は大府市立大府南中学校と年2回の交流を行い、オンラインによる自己紹介や交流クイズ、文化祭動画やパネル作品などの交換を通して、お互いの考えや生活の様子への理解を深めています。</p> <p>高等部は大府高校と年2回の交流を行っています。大府高校の文化祭へ参加したり、大府高校の生徒が来校し、ゲームやクイズなどをしたりして交流を深めています。</p> <p>また、高等部の生徒が、近隣の老人介護施設へ、作業学習の時間に製作した製品の模擬販売会を行っています。入所されている方々や施設の職員とコミュニケーションを図りながら、自分たちが作った製品を販売することで、物作りの楽しさや働くことの喜び、働くことの意義を考える機会とすると共に、地域の方々との交流も深めています。</p> <p>また、県内の病院に入院し、治療を続ける児童生徒に対し、地元小中学校との連携を図りながら入院期間中の教育保障を担っています。</p>	
高等部卒業生の主な進路	
<p><進学>大学 <一般就労>一般企業 <福祉就労>就労継続支援、生活介護等</p>	
一言アピール	
<p>病気の子どもがきちんと学び続けられる、「学校内での教育」、「病院での施設内教育」、「病院への訪問教育」が可能な県内唯一の病弱・虚弱児者を対象とした特別支援学校です。</p>	

2 スクール・ポリシー

このような幼児児童生徒の育成を目指します
<p>児童生徒一人一人の実態を踏まえ、その個性を伸ばすために、家庭及び医療機関との連携のもとに児童生徒の病気や障害の状態に応じて安心・安全で楽しく学び、社会を形成する一員として、こころ豊かな生活を築ける態度を育てます。</p>

<小学部>

- ・ 基本的な生活習慣を身に付け、確かな基礎学力をもつ児童
- ・ 自己の課題解決に主体的に取り組み、たくましく生きる児童
- ・ 思いやりのあるところ豊かな児童

<中学部>

- ・ 自らの課題に気付き、その課題の解決策を考えることができる生徒
- ・ 病気や障害の状態及び自己の特性について理解を深め、規律ある生活ができる生徒
- ・ 集団の一員として自己を認め他者を尊重できる生徒

<高等部>

- ・ 自立できる人
- ・ 健康の管理ができる人
- ・ よりよい人間関係づくりができる人
- ・ 自分で進路を決定できる人

このように学びます

○児童生徒の病気や障害の状態に応じた教育を行い、一人一人が基礎的な学力を確かなものとし、明るく楽しい学校生活を送りながら学びます。

○日々変化する個々の病気や障害の状態を正確に把握することにより、一人一人に応じた教育実践を進め、自己実現を目指して主体的に行動する力を身に付けられるように支援します。